

尾張自然観察会通信

2024年9号

発行9月1日



シンジュキノカワガ (コバカ科)

この蛾は中国原産で、成虫が風に乗って渡って来て産卵し、幼虫がシンジュの葉を食べて成長して羽化するものの、冬の低温で死滅すると言われてきました。そのため日本では「過産蛾」とされてきましたが、温暖化の影響で生存できる可能性もあるようで、各地で幼虫や成虫が見つかっています。一宮の大野極楽寺公園では昨年と今年に幼虫が見られました。

(成虫の写真提供：太田勝子さん)

=====**目 次**=====

当面の行事案内	1
会員のみなさんへのおしらせ	2
定例観察会報告	3
善師野自然観察会 (7月)	3
尾張北部自然観察会 (8月)	4
森林公園自然観察会 (8月)	5
木曽川下流自然観察会 (8月)	6
海上の森自然観察会 (8月)	7
日進岩藤川自然観察会 (8月)	8
知っておきたい尾張の自然・風景 東谷山	9

当 面 の 行 事 案 内

■定例観察会

日付	場所	催行時間	集合場所	担当	連絡先
9/1 (日)	森林公園	9:30~12:00	森林公園案内所	出口	080-4309-2701
9/7 (土)	明德公園	9:30~12:00	明德公園西駐車場入り口表示板	辻	080-3073-6827
9/7 (土)	尾張北部	9:30~14:00	さら・さくら第2駐車場	木村	080-3642-8304
9/8 (日)	木曽川下流	9:30~12:00	138タワー玄関前	齋竹	0587-37-7616
9/15 (日)	日進岩藤川	9:30~12:30	日進市総合運動公園の駐車場	鬼頭	0561-38-2792
9/21 (土)	海上の森	10:00~15:00	海上の森駐車場	内海	090-9912-3686
9/28 (土)	善師野	9:30~15:00	善師野駅前 (農道駐車不可)	平井	052-504-5223
10/5 (土)	明德公園	9:30~12:00	明德公園西駐車場入り口表示板	辻	080-3073-6827
10/5 (土)	尾張北部	9:30~14:00	さら・さくら第2駐車場	木村	080-3642-8304
10/6 (日)	森林公園	9:30~12:00	森林公園案内所	出口	080-4309-2701

通信に掲載したい事項やメールアドレス変更などがありましたら、下記担当者までお知らせください。

<編集担当> 齋竹善行

住所：〒482-0007 岩倉市大山寺元町 12-3 メールアドレス：BZA03620@nifty.ne.jp

会員のみなさんへのお知らせ

■運営委員会が開かれました

- 日時 8月4日(日) 13時00分～(森林公園自然観察会終了後)
- 場所 愛知県森林公園案内所
- 参加者 平井、内海、霜、木村、齋竹
- 検討事項

①役員等が交代されていない件

役員として会長、副会長、事務局、会計、監事、機関紙編集、HP管理が置かれ、このほかに尾張西部生態系ネットワーク協議会担当があります。

現在の役員を担当している人は、高齢化し活動の限界近くになっています。(事務局も70歳を超えました。)

尾張自然観察会の委員を担当していただける会員を募集します。特に現在は、会長が欠け副会長が代行しています。会長は愛知県自然観察指導員連絡協議会の理事会に参加し、名古屋・知多・西三河・東三河の会長や理事とも、色々な話ができる立場にあります。ぜひ次の総会に向けて役員に手を挙げてください。

また、定光寺と築水の定例観察会がなくなりました。新たな定例観察会を立ち上げて担当していただける会員も歓迎します。

②会計の件

尾張自然観察会の毎年度の繰越額が60万円を超えたこともあり、会費を今年度からなしにしていますが、この額は会計にとって負担に感じています。

今後多額の事業費が使われる見込みも少ないことから、各観察会で使う観察用具や印刷のため1万円ずつ助成してはどうかとの意見があり、次の総会に提案することになりました。

③定例観察会への会員登録について

今年度から、会員はいずれかの定例観察会に登録していただくようお願いしていますが、連絡がきていない方もまだ多くいます。

会長代行から電話で確認しますので、ご協力をお願いします。

④尾張自然観察会への加入要件&手続き

これまでは指導員講習会を受講して、愛知県自然観察指導員連絡協議会への加入申請書に所属支部を「尾張」と記入した人が会員となっていました。

現在、会員数が減少傾向にあり、組織を持続可能な状態で維持する上では、指導員講習会を目指している人なども含めて考えることが必要であり、加入要件や手続きを検討することが必要です。

⑤尾張北部生態系ネットワーク協議会との関係

愛知県内には9つの生態系ネットワーク協議会があり、尾張自然観察会の活動区域には「東部丘陵」、「尾張北部」、「尾張西部」の3つの生態系ネットワーク協議会があります。

現在、尾張自然観察会は「尾張西部」に加入していますが、定例観察会の多くが開かれている地域にある「尾張北部」(対象地域:瀬戸、春日井、犬山、小牧)にも加入してはどうかとの意見があり、尾張北部の事務局(犬山里山学センター)に話を聞いてみることになりました。

(事務局:内海)

■「協議会交流の日」が開かれます

愛知県自然観察指導員連絡協議会主催の「協議会交流の日」が次のとおり開催されます。

- 日時 2024年10月19日(土) 10:00～15:00
- 場所 愛知県森林公園植物園内(展示館会議室)
- 内容 午前の部 森林公園で自然観察
午後の部 ワークショップ テーマ:私の自然観察

詳細については協議会のHPでご確認ください。

<https://anoicm.sakura.ne.jp/2024.8.26kouryu.pdf>

定例観察会報告

第341回 From 善師野 2024. 7. 27 (土) 晴 指導員5名 一般13名

久しぶりに7月の善師野を歩きました。とにかく暑い！林の中は日陰でいいかとも思いましたが、かえって蒸し暑く大変でした。体調不良者も出てしまい、やはり7月の観察会は善師野以外が良さそうです。蒸し暑い林でしたが、この季節はあちらこちらから樹液の匂いが漂ってきます。ちょっと道を外れて近づいてみると、いました！ミヤマクワガタのオスにコクワガタのメス！これが夏の雑木林のお楽しみです。大洞池では2本のコナラの大木2本が倒れていました。1本はすでに切られていましたが、以前から池に向けてアーチ状になっていたコナラの大木は、道を完全にふさぐ形で池に向かって倒れたままになっていました。なんとかくぐり抜けましたが、おもしろい樹形だったので倒れてしまって本当に残念です。駐車場に戻り、クワの木を見ていたら、姿はテントウムシなのに見たことのない色彩の昆虫が葉裏に付いていました。何と外来種のテントウムシ、ムネアカオオクロテントウでした。マルカメムシの幼虫を食べるのでありがたいのですが外来種では・・・。

(平井)

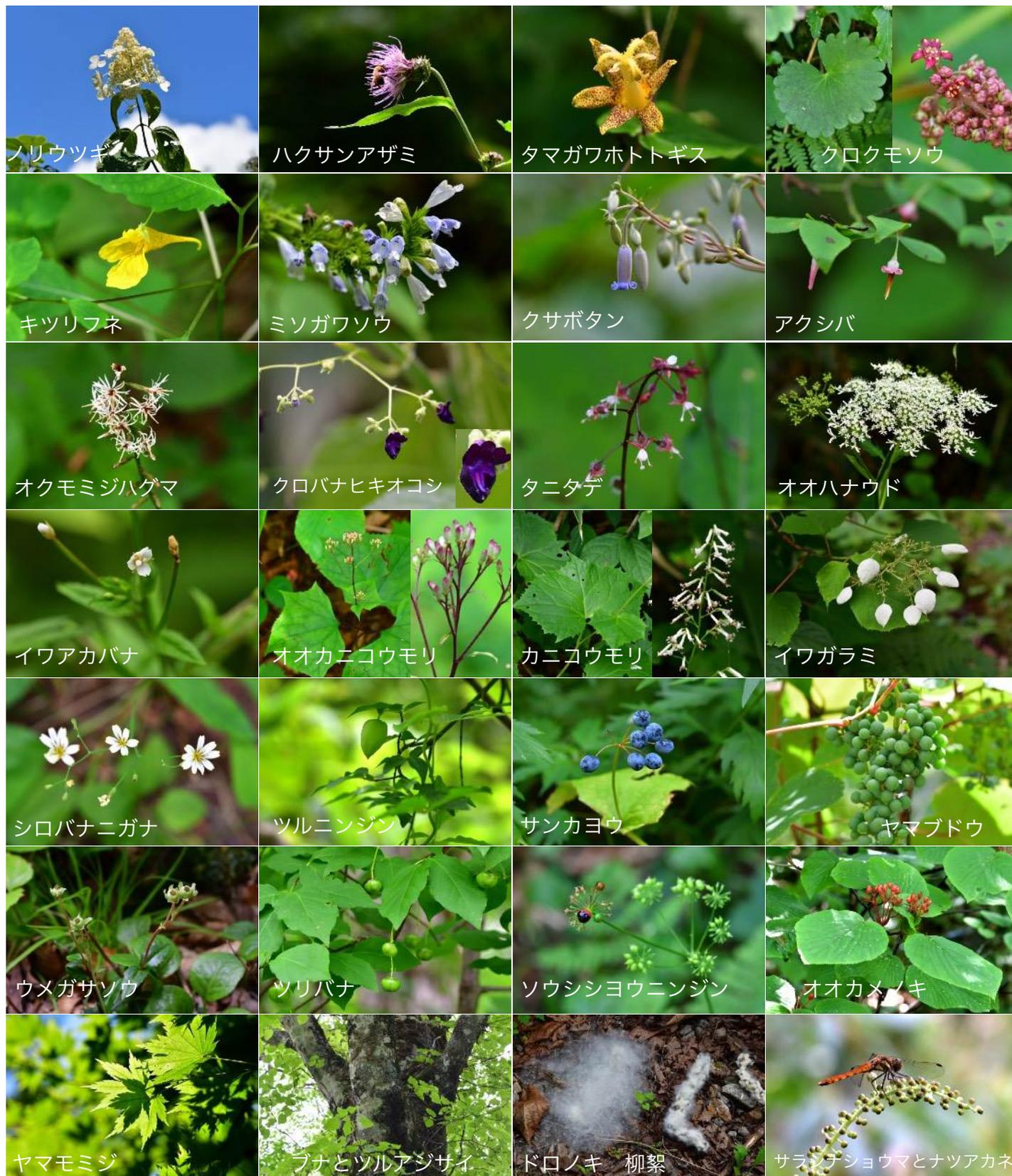


尾張北部自然観察会

2024年8月3日(土) 晴れ

参加者 指導員(木村、太田、札野、霜、角田、山田、後藤、後藤) 8名、一般6名 計14名

涼を求めて白山の麓の大白川園地へ向かいました。広大な地域にブナやミズナラ、ウダイカンバ等の原生林が広がっています。白水の滝展望所周辺ではホツツジが咲き、ここではヤマモミジが多くオオモミジとの葉の違いを確認しました。キャンプ場周辺の林道ではキツリフネ、ヤマブキショウマ、ミソガワソウ、クサボタン、アクシバ等の花やサンカヨウ、マイヅルソウ等の実が次々と目に留まりました。平瀬道登山口近くのドロノキの林では柳絮を見つけ、綿毛に覆われた種子の手触りを楽しみました。暑さをしばし忘れ、多種類の高原の植物を満喫できた観察会でした。(後藤)



森林公園からあなたから～しどういんつばや記～

森林公園観察会レポートNo.367

【日時】2024年8月4日9時30分～12時

【天候】晴【気温】最高37.9°最低28.1°(名古屋)

【参加者】指導員11名(出口・小林・霜・源田・木村眞・岡嶋・石川・太田・渡辺・高橋征・高橋か)

一般3名、合計14名

災害級の猛烈な暑さが続く。コースも日陰を選んで短めにし、30分おきに給水タイムを設け、体調を最優先にして観察を行った。終了時間も30分ほど早まり、逃げ込むように入ったエアコンのきいた展示館で本日の感想など談笑後、解散した。

「この落ちているの、ハマキムシかな？失礼して脱がせてみよう...3枚巻いてる、中身はいっぱい糞と小さな青虫か」「私、持って帰って育ててみるわ」

「この日照りでもアイナエが景気よく咲いてるね、葉っぱは地面すれすれにあるけど、小さいし見えにくいな」

「おや、こちらはショウリョウバッタが脱皮中だ！結構大きいから脱ぐのも大変そうだ。しかもこんなに大勢に見られて、きっと命がけだね」

「乾燥した土地だと思ってた梅園でミソハギが咲いてる、やっぱりここいらは、そもそもは湿地なのかな。カワラナデシコもきれいに咲いてるし」

「桔梗、めしべがキツパリ5つに分かれて、凛々しいわね」

「あっ、シマジタムラソウにルリモンハナバチがきてる！」

「A 湿地でこんなにサギソウがたくさん咲いてるのを今まで見たことがないわ。優雅で美しいわね、もう種になりかけてるものもあるけど、つぼみもいっぱい。まだまだ、さ・き・そ・う」

....失礼いたしました。



他に観察したおもなものは以下のとおり

(協力:小林)

【花】ミズヒキ、ギンミズヒキ、キミズヒキ、ヤブミョウガ、クサギ、
キネマゴ、朴ギリウ、ヤマノイ、ササロギク、
ヒカガシ

【実】ヒカガシ

画・出口 記・高橋(か)



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2024年8月11日(日) 9:30~12:00(快晴)

参加者 一般:5名

指導員:内海、太田、安田、齋竹

テーマ 林の生き物

猛暑のせい、盆休みのせいか人出が少なく、公園の駐車場はがら空き状態です。熱中症が心配なので、少しでも涼しい場所をと林の中のコースを回りました。

林の中ではマユタテアカネと、コナラの樹液が出ている所でシロテンハナムグリ、サトキマダラヒカゲ、コガタスズメバチが見られました。

林を出た所では、暑さで落葉したのかカツラの木の下に褐色の葉が散らばっていて、秋に落葉が発する甘い香りが漂っていました。(ちょっと季節が進んだ感じですね。)

本来ならクズの花が見られる季節なのですが、先月は多少咲いていたものの、この日はほとんど見られませんでした。

今回、一番見てもらいたかったものは大野極楽寺公園の林

の中で咲くキツネノカミソリ(ヒガンバナ科)の花です。先月の観察会ではまだ花茎も見られませんでした、7月下旬には満開となり、この日まで花が残っているかと心配でした。さいわい、2株だけ花をつけていて、ほかは既に花茎の先に実をつけた状態でした。(ヒガンバナと違い、結実します。)

その横では、こちら満開を過ぎたウバユリが見られました。ウバユリは138タワーパークの「もくもくパラダイス」の林の中でも、ほぼ満開状態で数株が花をつけていました。大きくは開かない花被の中を覗いてみると濃紫色の斑点が散らばっています。

ここでは、巨大ヌスビトハギといった感じのフジカンソウが蕾を膨らませており、在来のヌスビトハギは咲き始めていました。隣り合って生えているアレチヌスビトハギは花までにはもう少し日数がかかりそうです。

エゴノキの葉の裏に華奢な蜂が15匹程集まっていた。帰って調べたところムモンホソアシナガバチと分かりました。こんな時期に一族揃って引っ越しの途中なのでしょうか。

セミの声は4種(クマゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ)が聞かれましたが、気温が高すぎるのかチョウやトンボの出現数は少なめでした。この夏の猛暑はヒト以外の生き物たちにもいろいろな影響を及ぼしているのでしょうか。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

花:ツルドクダミ、サルスベリ、ブタナ、ヘクソカズラ、ムラサキツメクサ、ツククサ、ヤブミョウガ、イワダレソウ、ミソハギ、ノカンゾウ、オミナエシ、キキョウ、ツリガネニンジン、オカトラノオ、ダイコンソウ、アメリカミズキンバイ、ナガバオモダカ

鳥:キジバト、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、コゲラ(声)

虫:ナミアゲハ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、キタキチョウ、ツバメシジミ、イチモンジセセリ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ、マルカメムシ、シタベニハゴロモ、外来アミガサハゴロモ、キマダラカメムシ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ヨツスジトラカミキリ、オオヒラタシデムシ、フタモンアシナガバチ、ヒガシキリギリス(声)、エンマコオロギ(声)



(フジカンソウを観察中)



残っていたキツネノカミソリの花



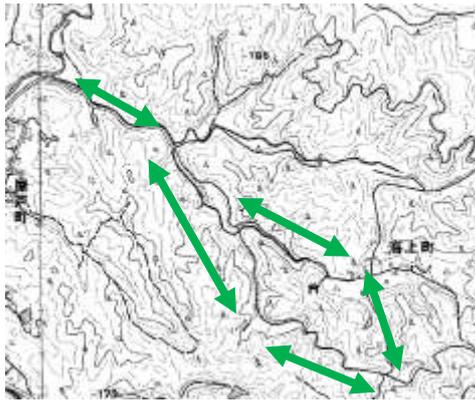
ウバユリの花の中の色は?



林の中のマユタテアカネ



ムモンホソアシナガバチ一家?



海上の森
行程 約3km



ミヤマウズラ



ホンゴウソウ



ヒナノシャクジョウ



ニホンアマガエル



シュレーゲルアオガエル



アケビコノハの幼虫



ナミハンミョウ

暑い8月です。しかし河原沿いでは木陰もあり、その周りには植物や昆虫などが見られました。トイレにカエル2つ、よく似ていますが違う仲間、アマガエルは色が白黒、シュレーゲルは緑色で変わっていない。こちらは色の変化が遅い？ようです。(内海)



水道の蛇口をひねると温かい水が流れてきます。日本庭園からの水路(上流)には、冷たいと思える水が流れています。この水路には水生の植物が何種も見られ、ハグロトンボやオオシオカラトンボが飛び交っています。トンボと言えば、今月の第一日曜日にはウスバキトンボがたくさん見られましたが、数匹しか見られなくなり、蝉はツクツクボウシが鳴き、オカメコオロギの声が聞こえています。(鬼頭)



マンネンタケ

コナラの根元からいくつも生えています。生木にも枯れ木にも生えてきます。霊芝とも言われ栽培法が確立され、民間薬などに使われるようです。



シラカシの樹液

サトキマダラヒカゲ、シロテンハナムグリ(緑色・銅色)がいました。拡大すると脚下には小さなアリも来ているのが分かりました。キマダラヒカゲは花の蜜には来ない蝶です。



ノコギリクワガタ

このクワガタは、大顎が牛の角のように張り出す大歯型、上のような小歯型その中間形の中歯型があります。温度が低い場所の方が大顎が大きくなるようです。



エナガ 小鳥の群れが鳴き交わしながら来たので、とっさに向けたレンズがとらえたのはち



よっと怖いエナガでした。
←エナガ



アカボシゴマダラ幼虫

背中突起が4対。ゴマダラチョウでは3対です。大きさも一回り大きく、ゴマダラと違って腹端も閉じています。人為的に大陸産亜種を持ち込んだとみられます。特定外来生物に指定され飼育や移動等は禁止されています。



ヒゲナガサシガメ

体長は15mm。片方が折れていますが体長より触角の方が名前通りの長いのが特徴です。肉食性のサシガメで、頭部が小さいです。樹上性で、灯火にも良く来るようで、明かりにつられて飛んできたようで建物の壁にいました。

知っておきたい尾張の自然・風景

東谷山は名古屋市と瀬戸市の市境にある海拔 198m の山です。山頂は名古屋市側にあり、ここが名古屋市で最も標高が高い地点となっています。

山頂には尾張戸神社がまつられ信仰の山として開発を免れ、ツブラジイなどの常緑広葉樹を中心とした樹林が広がり、ムササビ、テン、ニホンリスなどの哺乳類が生息し、この辺りでは珍しい天然記念物のニホンカモシカの姿が見られたこともあります。

山裾にはいくつもの湿地があり、シデコブシ、クロミノニシゴリ、シラタマホシクサなどの東海丘陵要素の植物やサギソウ、ヘビノボラスなどが生育し、分布が限られている昆虫のヒメタイコウチも生息しています。

こうした貴重な動植物が残されていることから、山域の 27.67 ヘクタールが 2010 年 4 月 2 日に愛知県の自然環境保全地域に指定されています。

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/504794.pdf>

湿地など立入が制限されている区域もありますが、登山道や散策路などが何本も整備され、樹木やそこにすむ野鳥、昆虫などを見ながら山域を巡ることができます。

また、この地域には志段味古墳群と呼ばれる尾張地域最大級の古墳群があり、史跡に指定されています。東谷山の自然環境保全区域内にもいくつもの古墳がありますが、都市計画道路白鳥線の西側にある白鳥塚古墳は全長 115m に及び愛知県で 3 番目の規模の前方後円墳で、しっかり保全されています。

山域の東側には名古屋市の東谷山フルーツパークもあり、アクセスしやすいので、自然や歴史を楽しみに足をのばしてみたいかがでしょう。（齋竹）

とうごくさん

東谷山（愛知県自然環境保全地域）



（フルーツパークから見た東谷山）



（東谷山周辺の地図）



（自然環境保全地域の説明看板）



（志段味古墳群で最大の白鳥塚古墳）